

## セキュリティ対策ツール

# InfoBarrier5

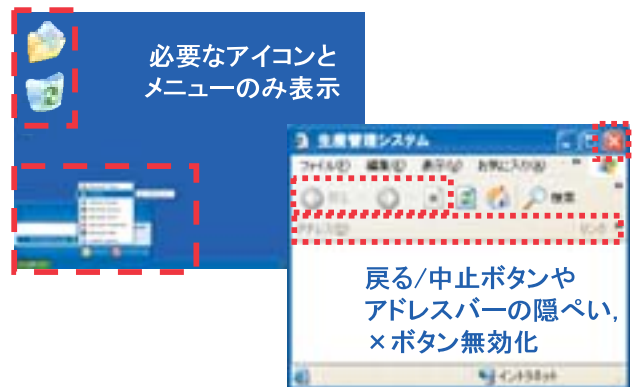
### 誤操作の防止、情報漏洩の問題を解決！

InfoBarrierは、Windowsの各種操作を制限したり、データの暗号化やファイル操作のログ監視により情報漏洩を抑制するパッケージです。VDS/ASTMACにおいても、誤操作により生産ラインの操業に影響を与えたり、重要なデータが外部へ漏洩することを防止するなど操作セキュリティの向上が図れます。

#### ★ 特長

##### ◆Windows上の操作を制限！

デスクトップ上のアイコンやスタートメニューのうち不要なメニューを使用不可にしたり、特定のアプリケーションプログラムの起動もしくは停止の禁止、[Ctrl]、[Alt]、[Shift]などとの併用キー操作を禁止するなど、VDS/ASTMACにおける通常の操業で必要としないWindowsの各種操作機能の使用可否を、約300項目にわたりきめ細かく設定できます。これにより、誤操作の不安を解消し安心して操業が行えるようになります。



##### ◆重要なファイルを保護！

クリップボードの使用禁止、保存ダイアログの非表示、外部メディアへのアクセス不可など、重要なデータを保護すると同時に、外部への漏洩を防止することも可能です。さらに、サーバ機およびサーバ機向けライセンスをご用意いただくことにより、ファイルの暗号化や、各クライアントの機密情報に関する操作ログ管理など、本格的なセキュリティ管理も行えます。



#### 【操業における不安を解決します！】

- 監視画面を閉じたり、必要なアプリケーションの停止、Windowsのシャットダウンなど操業に影響を与える誤操作を防止したい
- USBメモリなど外部記録媒体や、ハードコピーにて重要なデータを持ち出されることを防ぎたい
- PCの動作環境が不用意に変更され、システムの稼働が不安定になることを防止したい
- セキュリティ確保のために業務以外でのインターネットアクセスを禁止したい

## ★ 仕様概要

項目	機能概要
システム	[コンピュータのロック], [パスワードの変更], [タスクマネージャ], [ログオフ], [シャットダウン]などの禁止
コントロールパネル	[コントロールパネル]すべての使用禁止, [プログラムの追加と削除]や[画面のプロパティ]など特定アプレットを非表示, もしくは禁止
ネットワーク	[LAN接続プロパティ], [リモートアクセス接続プロパティ]へのアクセス, もしくは操作の禁止など
デスクトップ	不要なデスクトップアイコンの非表示もしくは使用不可
スタートメニュー	[スタートメニュー]ボタンの非表示, もしくは不要なプログラムメニューの非表示
タスクバー	[タスクバー]の非表示, もしくは使用不可, タスク切替キー操作を含むタスク切替の禁止
アプリケーション	特定のアプリケーションの起動/停止の禁止, [メニューバー], [コマンドバー]の非表示, 特定のメニュー, コマンドまたはポップアップメニューの使用不可
マウス/キー操作	マウスの右クリックやホイールの使用不可, [Ctrl]/[Alt]/[Shift]と併用不可のキー指定
情報保護	クリップボードの全面禁止, [保存ダイアログ]を非表示, USBメモリやMOなどリムーバブルメディアドライブの非表示, 各種暗号化設定 <sup>(*)</sup>

上記は設定可能な機能概要です。実際には300項目にわたるきめ細かい設定が可能です。詳細は、下記の製品HPを参照ください。

\*1: 「InfoBarrier5 Standard Plus」, 「InfoBarrier5 Enterprise Plus」のライセンス, およびSQL搭載サーバ機が必要となります。これらにより、暗号化機能に加えて、機密情報に対する操作ログ管理なども行えます。

## ★ 動作環境

動作環境(クライアント端末) ※サーバ端末(EnterpriseおよびEnterprise Plus)については下記製品HPを参照ください。	
機種	IBM PC/AT互換機
OS	Windows Vista Ultimate, Enterprise, Business Windows 2000 Professional SP4, Windows XP Professional SP2
CPU	InfoBarrier5 Standard Windows Vista: PentiumIV 1GHz相当以上(デュアルプロセッサを推奨) Windows 2000/XP: PentiumIII 450MHz相当以上
	InfoBarrier5 Standard Plus Windows Vista: PentiumIV 1.6GHz相当以上(デュアルプロセッサを推奨) Windows 2000/XP: PentiumIV 1GHz相当以上
メモリ	InfoBarrier5 Standard Windows Vista: 768MB以上 Windows 2000/XP: 384MB以上
	InfoBarrier5 Standard Plus Windows Vista: 1GB以上 Windows 2000/XP: 512MB以上
HDD	空き領域200MB以上

※ VDS/ASTMACと組み合わせて使用する場合は、VDS/ASTMACの動作環境に準じます。

※ InfoBarrierは動作させるPCごとにライセンスが1本必要です。(単体に加え、複数使用権も用意しています)

## ★ InfoBarrier についてのお問い合わせ先

株式会社 富士通アドバンスエンジニアリング TEL: 03-5324-1601  
〒163-1017 東京都新宿区西新宿3-7-1  
URL: <http://www.infobarrier.com>

\* セキュリティ対策ツール「InfoBarrier5」は、株式会社富士通アドバンスエンジニアリングの製品です。

STARDDOMは商標です。InfoBarrierは、株式会社富士通アドバンスエンジニアリングの登録商標です。その他掲載の会社名、製品名などは各社の登録商標または商標です。「InfoBarrier」とVDS/ASTMACとの基本的な動作確認は行っておりますが、実際の組み合わせにつきましては、お客様の責任のもとでご確認ください。

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE 

**vigilantplant.**<sup>®</sup>

The clear path to operational excellence



VigilantPlant(ビジラントプラント)はお客様の理想の操業を実現するYOKOGAWAのオートメーションコンセプトです。プラントを隅々まで見渡し(See)、将来を予見し(Know)、俊敏な操業(Act)でビジネスの成長を支えます。

横河電機株式会社

本社 0422-52-6549  
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

関西支社 06-6341-1387  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-4-9  
フリーゼタワー21階

お問い合わせは

インターネットホームページ  
<http://STARDDOM.jp>